

## 福井市郷土歴史博物館・養浩館研修に行ってきました

令和2年10月22日(木)、中学1年生は福井市立郷土歴史博物館・養浩館研修を行いました。今年は感染症対策として、例年の半分である15人グループを1人の学芸員の方が案内して下さったので、質問もしやすく、大変充実した研修となりました。

### 【福井市郷土歴史博物館】

常設展では、足羽山の古墳に始まり、奈良時代の荘園、江戸時代の福井城、そして様々な偉人達の足跡を学びました。郷土歴史博物館秋季特別展「北陸の古刀」では、南北朝時代以来、越前ほか北陸地方の各地で活躍した刀工たちの刀が展示されており、日本刀独特の輝きや美しさをみることができました。また企画展の「勇壮のよそおい」では、松平家の甲冑や陣羽織が展示されており、細かな細工に皆が驚いていました。

生徒からは、「当時の羽織にとんぼの刺繍がしてあるものがあり、理由はとんぼの別名が勝虫ということがわかり、凝った衣服に驚きました。」「今まで間近で刀を見たことがなかったので、光輝く様子に感動しました。」といった感想が聞かれました。



### 【養浩館庭園】

養浩館は、福井藩主松平家の別邸で、数寄屋風書院や回遊式林泉庭園を備える、江戸時代中期を代表する名園です。静寂の中、小雨でしっとりと濡れた日本庭園は味わい深く、紅葉が始まった美しさも格別でした。生徒は「紅葉が見頃になった頃、また家族と来たい。」「晴れた満月の日にここで一泊したらどんなに楽しいだろう。」などと話していました。

